

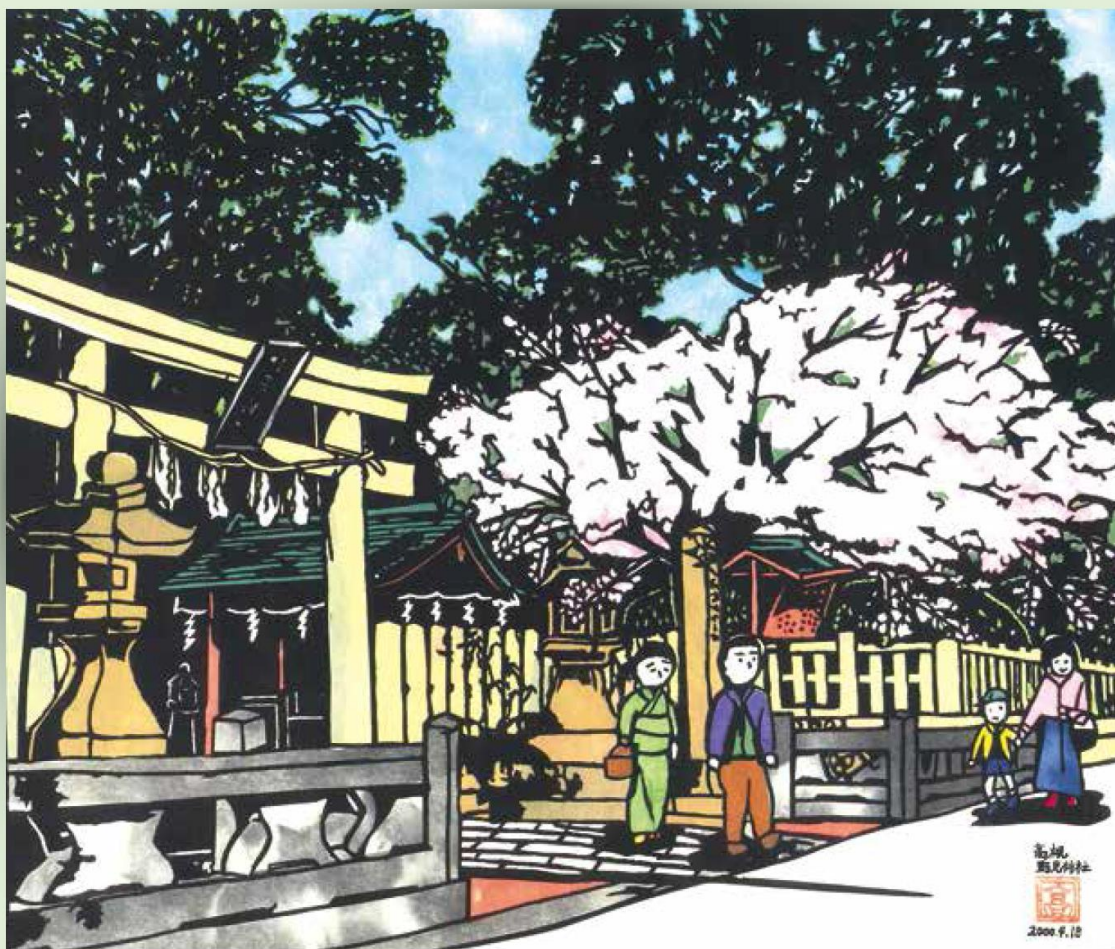
人づくり まちづくり 情報誌

あくていぶ

No.

63

平成28年(2016)
3月15日号



わがまちたかつき
切り絵紀行

「野見神社」

切り絵 作：生地 高芳(高槻市在住)

あちこち訪問

人権フィールドワークを体験

「六道之辻」など京都東山コースを巡る

「あくていぶ」は行動的、活動的な心と心のふれあいを求めて名づけられました

あちこち訪問

人権フィールドワークを体験

「六道之辻」など 京都東山コースを巡る

現地を訪ね、その歴史や人々の暮らしなどを見学しながら人権について学ぶ「人権フィールドワーク」。

今回は、あくていぶ広報チームが、多方面から人権課題に取り組む「穀雨企画室」代表の渡辺 毅さんを訪問し、「人権フィールドワーク 京都東山コース」を案内していただきました。

歌舞伎の祖、出雲の阿国とは

この日の人権フィールドワークは、まず、四条大橋たもとにある歌舞伎の祖とされている出雲の阿国像（歌舞伎発祥地の碑）前から始まりました。かつて、芸能民は賤民とおとしめられていたが、そうした中から「かぶき踊り」を引っ下げて近世初頭の京都に現れたのが出雲の阿国です。観光客が行きかうこんなところにも差別の歴史を感じる施設がありました。

続いて、鴨川汜濫を鎮めるために建立され祀られた「雨止み地蔵」が、いつしか転じて「眼やみ地蔵」となり、眼病に苦しむ人たちの信仰を集め

人権フィールドワーク で歩いたコース



出雲の阿国像 → 歌舞伎発祥の碑（京都南座楽屋入口横） → 中源寺（眼やみ地蔵） → 宮川町花街 → 寿延寺（洗い地蔵） → 摩利支天堂 → 六道之辻 → 六道珍皇寺 → 八坂庚申堂・八坂の塔 → 八坂神社

るところに、病と祈りに思いをはせる。迷える存在である人間が輪廻し続ける六つの世界、その世界へ行く分岐点と言われる生死の世界の境界に当たる「六道之辻」へ。

※「六道」とは、天道、人間道、修羅道、畜生道、餓鬼道、地獄道の六つの世界。

京都の埋葬地「烏辺野」

東山五条あたりの山腹に中世以前の京都の代表的な埋葬地として「烏辺野」があります。その烏辺野で埋葬の仕事をしていた人たちは、「坂者」と呼ばれ、差別を受けながら八坂神社にも仕え、清めや警護の役目も果たしていたそうです。

そんな、大切な役目をしていた人たちが、なぜ「非人」や「坂者」などと呼ばれ不条理な扱いを受けなければならなかったのか……。なんとも悲しい。



▲「六道の辻」の石碑



出雲の阿国像前で（四条大橋のたもと）▲

宮川町の花街通り

宮川町は、祇園甲部、祇園東、先斗町、上七軒と並ぶ京都五花街の一つ。かつては四条河原の芝居との関係が深く、江戸初期に女歌舞伎禁止令が出て以降の若衆歌舞伎や野郎歌舞伎の役者たちを男娼として抱える「陰間茶屋」などが栄えたらしい。そんな宮川町の花街通りも、今は外国籍の人たちや修学旅行の学生さんなど観光客で賑わっています。

講師の渡辺さんと、その場その場で人権や民衆の心に触れながら、平安時代から続く歴史の深さを改めて実感した貴重な一日となりました。



▲観光客で賑わう花見小路で

コラム Column

「だから男と女はすれちがう～ともに楽しく過ごすために～」

高槻市人権まちづくり協会 啓発指導員 野田 忠司

医療の世界で心臓病に男性と女性に違いがあること、かかる病気は同じなのに薬の効き目には男女差があることが明らかにされてきています。

1960年代ごろ、「親や周囲の子どもの育て方が男らしさや女らしさを創っている」という考え方が主流でした。「男性は外で働き、女性は家を守る、という固定した男女の役割分担を改めなければならない」と人権啓発で指摘されていました。しかし、最近の脳科学の進歩により、男女の違いが明らかにされてきています。

女性脳は「察し」能力が高く、男性脳は客観的な判断力が高い

脳梁（神経線維の束）が太い女性脳は、右脳と左脳の連携が男性脳に比べて非常に良い脳です。そのため、目の前をつぶさに観察して、わずかな変化も見逃さない。この高い「察する」能力によって、物言わない赤ちゃんを無事に育てることができる。左右の脳の連携が悪い男性脳は、目の前の些細な変化には疎いが、そのおかげで脳の局所を心おきなくフル回転させ客観的な判断をしたり、大きな世界観を構築したりするのが得意らしい。

すれ違いを少なくするための工夫

激しく愛し合う時期を過ぎた夫婦が、円満に過ごすためには、毎晩10分程度の時間をつくり、その日にあった出来事を話し合うことが有効です。男性は、目的のない会話をするにはストレスを感じます。したがって、お互いに目的のはっきりしない話をするなら、会話の初めに「聞き流してね」とかを言うことが、男女のすれ違いを少なくします。

妻が時間をかけていろいろと話をするのは、共感してほしい、察してほしいとだけ思っても、夫は妻の悩みを解決しなければと思ひ解決策を示そうとしてしまう。

男女の違いは、長い狩猟採集時代の遺物ではあるが、無意識のなかに深く根ざしており、日常生活のなかで深刻な影響を与えやすい。男女の違いについて理解し、その違いを意識して、相手の気持ちを理解する努力が欠かせないのです。すれ違いを乗り越える方法は次回に。



（さまざまな人権にかかわるテーマについて講演します。ご希望があれば人権まちづくり協会（☎674-7878）までお問い合わせください。）

桂春蝶さんの講演や入選作品展に約700人

「だれが得する?差別やいじめ」(標語部門最優秀作品)



平成27年度人権啓発作品入選者一覧

作文の部

入選	氏名	作品名	学校名等
最優秀賞	富士原昂大	高齢化社会の中で僕たちができること	芝谷中2年
優秀賞	中田 皐月	ねこまたのおばぼと物の怪たち	五領小6年
優秀賞	村田 茉優	平和って何?	芝谷中2年
優秀賞	坂田 美晴	譲り合う心	芝谷中2年
優秀賞	城山 歩美	身近な「差別」	冠 中1年
佳作	▶松島聡史(五領小3年)▶松本歩望(芝谷中2年)▶山見詩絵里(芝谷中2年)▶浅香一心(芝谷中2年)▶石川桃香(若松小6年)▶桂秀悟(若松小6年)▶小西優奈(若松小6年)▶土肥春陽(若松小6年)▶石井滯(城南中3年)▶中川祐季(第四中3年)		

絵画の部

入選	氏名	作品名	学校名等
最優秀賞	加藤 梨央	いい世界へ	郡家小6年
優秀賞	片山 空	かんがえよう	如是小4年
優秀賞	豊島 凧沙	平和ポスター	玉川小6年
優秀賞	福村 美月	愛	郡家小6年
優秀賞	原口 陽菜	無題	西大冠小5年
佳作	▶内藤姫子(赤大路小6年)▶布川怜奈(赤大路小6年)▶中川元喜(富田小6年)▶川嶋静姫(富田小6年)▶惠阪瑠(如是小4年)▶戸尾真尋(如是小4年)▶小川龍仁(玉川小6年)▶中島真珠玖(玉川小6年)▶山宮彩友(郡家小6年)▶広幡健成(郡家小6年)		

標語の部

入選	氏名	作品名	学校名等
最優秀賞	笠島 一紗	だれが得する?差別やいじめ	阿武山小6年
優秀賞	高山 葵	とがった言葉でこぼれる涙 まあるい言葉であふれる笑顔	第二中3年
優秀賞	小山 杏	みんなで 笑顔を 届けよう	第三中3年
優秀賞	杉山真桜美	こんにちは 知らない人にも 言えるかな	大冠小3年
優秀賞	寺本 亮	笑い愛 めくもり愛 たすけ愛	一般
佳作	▶川端愛海(第三中3年)▶安藤風海(阿武山小6年)▶水谷遼(大冠小3年)▶木野若奈(大冠小4年)▶小垣ジャスミン(北清水小5年)▶数原華稟(若松小1年)▶上田彩夢(若松小2年)▶大前桜花(若松小3年)▶中村篤志(第六中1年)▶亀田延子(一般)		

人権週間記念事業として昨年の12月10日(金)、11日(土)の2日間にわたって、「人権を考える市民のつどい」(主催:高槻市、企画運営:高槻市人権まちづくり協会)を開催し、講演会や人権啓発入選作品展などを行いました。

人権啓発作品では、「作文」「絵画」「標語」の3部門について募集したところ、計2,060点の応募がありました。審査の結果、部門ごとに最優秀1点、優秀4点、佳作10点を選定し、「人とのつながり家族のカタチ」と題したパネル展とともに、2日間、総合センター1階展示ホールで展示を行い約440名の来場がありました。

また11日には、啓発作品入選者の表彰式を行うとともに、落語家の桂春蝶さんを講師にお招きし、「人とのつながり思いやり〜ココロも笑いでバランスを〜」と題した講演会を開催、約260名が来場し、軽妙な話術で、人権のテーマを観客を笑わせながら話されました。



▲ 乾副市長から表彰される入選者



▲ 絵画の部 最優秀作品 「いい世界へ」

参加者アンケートより

- ・ 平和な社会に向けて考える良い機会となりました (30代)
- ・ 楽しい話の中に大事なことがたくさんあったと思います。大変参考になりました (60代)
- ・ 偶然通りがかりに参加した。興味深い。(神戸在住 40代)
- ・ 道徳の教えが大切、そして家族以外の方との交流も大変大事だと思います (60代)
- ・ 人権、とても大切で身近なこと。日々周りの人に (70代)



作文の部 最優秀作品「高齢化社会の中で僕たちができること」から一部抜粋

ぼくの住む町にも沢山の高齢者がいます。……(省略)……、自分一人ではできることも限られていますが、周りの人の力を借りて、多くの人を見守ることが大切だと思います。自分から声を掛けるのは少し照れくさいときもありますが、思いやりの気持ちをもって、みんなが安心して暮らせる町づくりを考え実行していきたいと思います。自分にできることをしっかりとやっていきたいと思う。

生きることのすばらしさ、そんな思いを伝えたい

講演と落語で春蝶さん語る

講師の3代目桂春蝶さんは、元々は落語家志望ではなく、実父の2代目桂春蝶さんの死をきっかけに同じ道に。

講演では、ご自身の幼少期を振り返り、「父である2代目春蝶は、酒を飲みすぎ、体をこわし、死にたい、死にたいとずっと言っているのを聞かされてきた」と恐怖にも感じた体験を話され、そして、そんな父の死をきっかけに、「生きていること、命のあるありがたさを考えるようになった」と。その後落語家となり、子どもも授かり、「生きることのすばらしさ、ありがたさ、そんな思いを伝えたい」と特攻隊をテーマにした新作落語にも取り組んでおられます。

また、日本とトルコの友好関係の始まりとされる、軍艦「エルトゥールル号」の遭難と日本人による救出、そして、100年後にはその恩返しをとテヘランからの邦人救出にトルコ国民が力を貸してくれた逸話などをもとに講演。また講演後は、山内一豊が登場する落語も行われ、身近な助け合いや支え合い、人とのつながりや家族の絆などについて、笑いも交えながら参加者に語りかけられました。





地域が元気にいきいきと



高槻市人権まちづくり協会では、人と人とのつながりを大切に、中学校区ごとに単位会を設置し、地域のさまざまな団体と連携しながら、講座や研修など市民が中心の人権草の根活動によるまちづくりに取り組んでいます。

単位会の草の根活動の紹介

校区名	主な活動内容
一中	日 時 平成27年10月29日(木) テーマ 笑顔が命を輝かす～落語と講演 参加者 74人
二中	日 時 平成28年1月27日(水) テーマ 京都西陣新たな視点 参加者 40人
四中	日 時 平成27年7月28日(火) テーマ 映画会「1リットルの涙」 参加者 90人 その他 人権講演会ほか
六中	日 時 平成27年9月1日(火)～17日(木) テーマ 第六回校区ミニ平和展 参加者 800人 その他 冠中校区等と共催で講演会など
七中	日 時 平成27年7月28日(火) テーマ 戦後70年 いま私たちが思うこと 参加者 38人 その他 ミニ平和展「戦後70年」パネル展示
八中	日 時 平成27年11月18日(水) テーマ 居場所の無い少女の今 ～冷え切った心を暖めたい～ 参加者 87人
九中	日 時 平成27年11月15日(土) テーマ 夫源病～熟年期 ～夫婦関係を良くするために～ 参加者 38人
十中	日 時 平成27年11月15日(土) テーマ 幸せって何だっけ! 人にも物にも自分にも当たらない社会を 参加者 300人 その他 社協竹の内地区福祉委員会主催の第34回ふれあい広場に参加。人権パネルの展示等。十中ブロック青少年健全育成連絡協議会と共催で「第12回たそがれコンサート」を開催



落語と講演(一中単位会)



ミニ平和展「戦後70年」で(七中単位会)



「夫源病」をテーマに講演会(九中単位会)



校区ふれあい広場で(十中単位会)



ミニ平和展(六中・冠中単位会合同)



クリスマス会に参加して交流(城南中単位会)



会員さんからのご便り

校区単位会バスツアー参加者の方からお寄せいただきました。

水平社博物館を見学して

日本初の人権宣言である、「人の世に熟あれ、人間に光あれ」。つまり、「人間は尊敬されるべきもの」「誇りと尊厳」の水平社精神は、他の差別にも通じると思えます。平等と思いやりを大切にします。

(二中校区単位会 濱田美知子さん)

バスツアーに参加して

地域の皆さんとの交流で、コミュニケーションの輪がしだいに大きく広がっていくことは、とても嬉しく楽しみです。

バスツアーを通じて感じたことは、心身ともにリフレッシュできて良かったことです。何より皆様との暖かい心の触れ合いと、優しいまなざしに感謝です。私にとって有意義なバスツアーとなりました。

(城南中校区単位会 藤本章子さん)

校区名	主な活動内容
阿武野 阿武山中	日時 平成27年5月18日(月) テーマ 人権啓発ビデオ研修会 参加者 39人 その他 講演会や人権パネル展示
城南中	日時 平成27年8月6日(木) テーマ 「8.6 平和と人権のつどい」で 映画「ゼロからの風」を上映 参加者 56人 その他 地域交流「桜を見る会」を開催。桜並木に手作り灯ろう 50 本を道の両側に立てかけるなど地域とのふれあい活動やクリスマス会など
川西中	日時 平成28年2月24日(水) テーマ 共に生きる～障がい者の地域生活を考える 参加者 24人 その他 講演会「だから男と女はすれ違う」など
如是中	日時 平成27年5月29日(金) テーマ 笑って学ぶ大阪のおばちゃんの人情ふれあい術 参加者 84人 その他 人権講座 「戦後70年いま私たちが思うこと」
冠中	日時 平成27年7月30日(木) テーマ だから男と女はすれ違う 参加者 25人 その他 六中校区と共催でミニ平和展の開催など
芝谷中	日時 平成27年10月9日(金) テーマ 安心して老いるための法律Q&A ～成年後見制度を知ってますか～ 参加者 84人 その他 日吉台地区「ふるさと夏まつり」にペープサート・いいよばあちゃんと森のなかまたちを上演や人権まちづくりコーナーの設置など

単位会合同 人権バスツアー



平成27年度 単位会合同人権バスツアー実施状況

中学校区単位会名(合同)	主な視察研修先
一中・六中・未組織中	京都川島織物文化館(京都市左京区)ほか
七中・八中・十中	中江藤樹記念館(滋賀県高島市)ほか
一中・如是中・城南中	京都オムロン太陽の家(京都市南区)ほか
川西中・四中・九中	丹波マンガン記念館(京都市右京区)ほか
阿武野阿武山中・二中・芝谷中	水平社博物館(奈良県御所市)ほか



人が輝く 心の色 を描く

かじひてか
加地英貴さんの世界

赤や黄、緑などの色鉛筆で塗りつぶした力強い作品を集めた個展が市内で開催され話題を呼んだ。

作品を制作するのは、自閉症の加地英貴さん（津之江町、24歳）。加地さんは、ほとんどしゃべらず、字も書かない。

中学時代、お母さんと高槻市役所に行く途中、ふとしたことで離れてしまい、約20時間も歩き続け、疲れ切ったところを園部町で発見されるということもあった。

そんな彼が、絵を描くことに出会い、時には50本もの色鉛筆を塗りつぶしながら時間をかけて1枚の作品を仕上げる。彼の作品は、言葉や文章で表現できないからこそその色彩やタッチが個性となって見る者を強く感動させるようだ。

「話もできない彼が、心の声を色で表現したいのでは」とお母さん。

今後の個展の日程は未定だが、機会があれば皆さんもぜひ一度作品に触れてみられてはどうか。



個展に出品された▲
作品のひとつ

ご挨拶

高槻市人権まちづくり協会 代表理事
井出 正夫



このたび、高槻市人権まちづくり協会の代表理事に就任しました井出正夫です。

皆様方には、平素より草の根人権啓発活動の推進にご協力を頂き感謝いたしております。

私は、これまで高槻市社会福祉協議会の会長として、地域福祉の向上に努めてまいりました。そして、常々、福祉の問題は人権の問題であるとも考えておりました。

数前代表理事（現顧問）を初めとする先人の意志を引き継ぎ、今後もさらに当協会組織の充実を図るとともに、行政・関係機関と連携しながら、様々な人権課題の解消に取り組んでまいりたいと考えております。今後とも益々のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



春休み

子ども映画会

～ おまえうまそうだな ～

日時 2016年3月26日(土)
午前10時～11時30分

会場 春日ふれあい文化センター

定員 先着80人 入場料 無料

主催 高槻市教育委員会

問合せ先 高槻市人権まちづくり協会 (☎674-7878)



絵本「ティラノサウルスシリーズ」を映画化したハートフルなアニメ

編集後記

「あちこち訪問」の取材で、京都の東山五条界隈をフィールドワークした。

この辺りは、世界的観光地として多くの人々が訪れる華やかな顔と同時に魔の顔を併せ持つ。霊や怨念・死の薫り漂うパワースポットを巡り、花街エリアでは、着物姿や舞妓姿に身をつつんだ女性観光客とすれ違う。今、平和にどっぷりつかった自分と、女の生き方の今と昔に思いをはせた不思議で魅力的な京都散策の一日だった。

編集発行／一般社団法人 高槻市人権まちづくり協会 (☎674-7878)

「あくていぶ」は協会ブログからもご覧になれます。 [高槻市人権まちづくり協会](#) [検索](#)